

2019年 3月期 第2四半期決算説明会

2018年11月15日

東亜建設工業株式会社

目次

I ⁻¹ . 2019年3月期 第2四半期決算結果	- 3
I ⁻² . 事業分野別 受注実績（単体）	- 4
I ⁻³ . 事業分野別 売上高・損益実績（単体）	- 5
II ⁻¹ . 2019年3月期 業績見通し	- 6
II ⁻² . 事業分野別 受注見通し（単体）	- 7
II ⁻³ . 事業分野別 売上高・損益見通し（単体）	- 8
III. 上半期の主な受注工事の状況	- 9
IV ⁻¹ . 将来の市場環境について 土木分野（洋上風力発電所）	- 10~11
IV ⁻² . 将来の市場環境について 建築分野（冷凍冷蔵倉庫）	- 12

I-1. 2019年3月期 第2四半期決算結果

(単位：億円、%)	2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期			
	連結	単体	連結	前年同期比	単体	前年同期比
受注		669.9			985.0	47.0%
売上高	742.9	706.8	712.0	△4.2%	681.9	△3.5%
売上総利益	75.8	71.0	60.9	△19.7%	50.9	△28.3%
売上総利益率	10.2%	10.1%	8.6%	△1.7	7.5%	△2.6
一般管理費	49.4	44.6	51.1	3.3%	46.5	4.3%
一般管理費率	6.7%	6.3%	7.2%	0.5	6.8%	0.5
営業利益	26.3	26.4	9.7	△62.9%	4.4	△83.2%
営業外収益	2.6	2.6	2.9	13.6%	2.9	14.1%
営業外費用	2.5	2.1	2.8	13.7%	2.7	29.7%
経常利益	26.4	26.8	9.8	△62.7%	4.6	△82.8%
特別利益	0.0	0.0	0.2	574.8%	0.2	574.8%
特別損失	0.3	0.3	0.5	78.3%	0.4	48.1%
税引前利益	26.1	26.5	9.5	△63.5%	4.3	△83.5%
当期純利益	18.9	19.8	5.1	△72.9%	2.3	△88.1%
※連結は、「親会社株主に帰属する当期純利益」						
純資産	-	607	-	-	602	△0.8%

■業績数値

□受注（東亜単体 985億円）

□売上高

国内は、手持ち工事の順調な進捗により売上増となったが、海外大型工事の着工遅れなどにより、減収。

□売上総利益

主に売上高の減少に伴って、減益。
連結では一部子会社の利益率改善により、減益幅が縮小。

□営業利益

一般管理費も微増となり、減益。

□当期純利益

第2四半期では、連結・単体ともに減益。
※連結は親会社株主に帰属する当期純利益

■財務数値（単体のみ）

□純資産（目標：2019年度迄に650億円）

□ROE（目標：2019年度迄に5%）

注) 資料全般にわたり、金額は億単位で表記しておりますが、前期比の%表示は決算短信ベース(百万円単位)で表記しているため、率計算が合わない箇所がございます。

I-2. 事業分野別 受注実績(単体)

受 注		2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期		
(単位：億円)		実績	構成比	実績	前年同期比	構成比
国内土木	官庁	266.7		496.2	86.0%	
	民間	116.9		136.3	16.6%	
	計	383.6	57.2%	632.5	64.9%	64.2%
国内建築	官庁	1.4		52.4	-	
	民間	251.5		181.8	△27.7%	
	計	252.9	37.8%	234.2	△7.4%	23.8%
国内計		636.6		866.8	36.2%	
海外	土木	20.1		96.9	382.2%	
	建築	4.4		11.9	169.0%	
	計	24.5	3.7%	108.9	343.6%	11.1%
	土木	403.7		729.4	80.7%	
	建築	257.4		246.2	△4.3%	
建設事業計		661.1		975.7	47.6%	
開発事業等		8.7	1.3%	9.3	6.7%	0.9%
合 計		669.9	100.0%	985.0	47.0%	100.0%

□受注高（985億円 前年同期比 47.0%）

■国内土木（632億円 前年同期比 64.9%）

- ・官庁土木は、国交省直轄工事などの受注が順調に推移し、大幅に増加。
- ・民間土木は、エネルギー関連施設などの受注により、増加。

■国内建築（234億円 前年同期比 △7.4%）

- ・官庁建築は、大幅に増加。
- ・民間建築は、好調だった前期受注の反動により、減少。

■海外（108億円 前年同期比 343.6%）

- ・インドネシア政府よりパティンバン港コンテナターミナル工事などを受注。

I-3. 事業分野別 売上高・損益実績(単体)

売上高		2018年 3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期		売上損益 利益率		2018年 3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	
(単位：億円)		実績	実績	前期比	(単位：上段-億円、 下段-%・ポイント)		実績	実績	前期比
国内土木		331.3	382.9	15.6%	国内土木		31.1	43.2	39.1%
							9.4%	11.3%	1.9
国内建築		248.1	217.6	△12.3%	国内建築		18.9	16.6	△12.3%
							7.6%	7.6%	0.0
国内計		579.5	600.6	3.6%	国内計		50.0	59.9	19.6%
							8.6%	10.0%	1.4
	土木	97.6	51.5	△47.2%	海外		11.4	△1.2	-
	建築	17.8	19.9	11.9%					
海外計		115.4	71.4	△38.1%			9.9%	△1.7%	△11.6
	土木	429.0	434.5	1.3%	原価差額等		8.2	△10.2	-
	建築	266.0	237.6	△10.7%	建設事業計		69.7	48.3	△30.6%
建設事業計		695.0	672.1	△3.3%			10.0%	7.2%	△2.8
開発事業等		7.7	3.9	△49.7%	開発事業等		△0.4	0.6	-
							△5.7%	15.4%	21.1
不動産等		4.0	5.9	47.7%	不動産等		1.7	1.9	14.4%
							43.0%	33.3%	△9.7
合計		706.8	681.9	△3.5%	合計		71.0	50.9	△28.3%
							10.1%	7.5%	△2.6

□売上高 (681億円 前年同期比 △3.5%)

■国内土木 (382億円、前年同期比 15.6%)

手持ち工事が順調に進捗し、増加。

■国内建築 (217億円、前年同期比 △12.3%)

前期完成した大型工事の反動により、減少。

■海外 (71億円、前年同期比 △38.1%)

一部工事の着工の遅れによって、大幅減。

□売上損益 (50億円、前年同期比 △28.3%)

■国内土木 (43億円、前年同期比 39.1%)

完成工事高及び採算が向上し、大幅に増加。

■国内建築 (16億円、前年同期比 △12.3%)

完成工事高の減少に伴って、減少。

■海外 (△1.2億円)

完成工事高の減少と一部工事の採算悪化により、大幅減。

Ⅱ-1. 2019年 3月期 業績見通し

(単位：億円、%)	2018年3月期 実績		2019年3月期 見通し			
	連結	単体	連結	前期比	単体	前期比
受注		1,462			1,700	16.2%
売上高	1,610	1,523	1,700	5.6%	1,660	9.0%
売上総利益	130	116	139	6.8%	124	6.5%
売上総利益率	8.1%	7.6%	8.2%		7.5%	
一般管理費	101	91	102	0.6%	93	1.4%
一般管理比率	6.3%	6.0%	6.0%		5.6%	
営業利益	28	24	37	28.5%	31	25.7%
営業外収益	3	3	3	△1.7%	3	△1.7%
営業外費用	5	4	6	23.6%	5	21.2%
経常利益	27	23	34	25.3%	29	22.2%
特別利益	0	0	0	△38.5%	0	△11.3%
特別損失	2	1	1	△37.1%	1	△6.3%
税引前利益	25	22	33	29.1%	28	23.4%
当期純利益	17	17	20	14.3%	17	△1.3%
※連結は、「親会社株主に帰属する当期純利益」						
純資産	-	602	-	2019年度迄に650億円		
ROE	-	2.9	-	2019年度迄に5%		

■業績数値

第2四半期決算の売上高と利益実績は期首予想よりも減少したが、通期業績見通しの合計は、変更なし。

□受注

単体：1,700億円

□売上高

単体の受注増加に伴い、連結・単体とも増収。

□売上総利益

売上高の増加に伴い増益。

□一般管理費

連結・単体とも前期並み。

□当期純利益

連結で増益、単体で前期並み。

※連結は親会社株主に帰属する当期純利益

■財務数値

□純資産

2019年度迄に単体で650億円。

□ROE

2019年度迄に単体で5%。

Ⅱ-2 . 事業分野別 受注見通し(単体)

受 注 (単位：億円)		2018年3月期		2019年3月期		
		実績	構成比	見通し	前期比	構成比
国内土木	官庁	524		701	33.7%	
	民間	250		199	△20.6%	
	計	775	53.0%	900	16.1%	52.9%
国内建築	官庁	25		37	46.1%	
	民間	460		493	7.1%	
	計	485	33.2%	530	9.2%	31.2%
国内計		1,260		1,430	13.4%	
海外	土木	171		240	39.7%	
	建築	17		20	16.9%	
	計	188	12.9%	260	37.7%	15.3%
	土木	946		1,140	20.4%	
	建築	502		550	9.4%	
建設事業計		1,449		1,690	16.6%	
開発事業等		13	0.9%	10	△25.6%	0.6%
合 計		1,462	100.0%	1,700	16.2%	100.0%

□受注高 (1,700億円 前期比 16.2%)

■国内土木 (900億円 前期比 16.1%)

- ・官庁土木は、引き続き、総合評価落札方式の対応強化を図る。(特に大型港湾プロジェクトに注力)
- ・民間土木は、エネルギー関連施設、鉄道などにも注力。

■国内建築 (530億円 前期比 9.2%)

- ・官庁建築は、収益性や要員を念頭に、案件を選別して取り組む。
- ・民間建築は、設計施工案件・特命案件・企画提案案件に注力。

■海外 (260億円 前期比 37.7%)

- ・引き続き、東南アジア (シンガポールなど) ・中東・アフリカの港湾施設などに注力。
- ・新たに、カンボジア・ミャンマー・バングラディシュ等東南アジアの西側にも営業エリアを広げ、工種も、橋梁基礎・洪水対策・灌漑・下水道にもチャレンジ。

Ⅱ-3 事業分野別 売上高・損益見通し(単体)

売上高		2018年 3月期	2019年3月期		売上損益 利益率		2018年 3月期	2019年3月期	
(単位：億円)		実績	見通し	前期比	(単位：上段-億円、 下段-%・ポイント)		実績	見通し	前期比
国内土木		740	920	24.2%	国内土木		74	95	28.1%
							10.0%	10.3%	0.3
国内建築		530	530	△0.0%	国内建築		33	35	5.8%
							6.2%	6.6%	0.4
国内計		1,270	1,450	14.1%	国内計		107	130	21.2%
							8.4%	9.0%	0.6
	土木	194	155	△20.4%	海外		14	2	△86.1%
	建築	35	35	△1.3%			6.2%	1.1%	△5.1
海外計		230	190	△17.5%					
	土木	935	1,075	14.9%	原価差額等		△8	△14	
	建築	565	565	△0.1%	建設事業計		112	118	4.6%
建設事業計		1,500	1,640	9.3%			7.5%	7.2%	△0.3
開発事業等		13	10	△24.8%	開発事業等		0	1	-
							△0.5%	10.0%	10.5
不動産等		9	10	10.9%	不動産等		3	5	34.8%
							41.2%	50.0%	8.8
合計		1,523	1,660	9.0%	合計		116	124	6.5%
							7.6%	7.5%	△0.1

□売上高 (1,660億円、前期比 9.0%)

■国内土木 (920億円、前期比 24.2%)

前期繰越と当期受注工事の増加により、前期比増。

■国内建築 (530億円、前期比 △0.0%)

手持ち工事の順調な進捗により、高水準の売上高を維持。

■海外 (190億円、前期比 △17.5%)

繰越工事の減少と大型工事の着工の遅れにより、減少。

□売上損益 (124億円、前期比 6.5%)

■国内土木 (95億円、前期比 28.1%)

売上高の増加により、工事利益も前期比増。

■国内建築 (35億円、前期比 5.8%)

工事利益率の改善により、前期比増。

■海外 (2億円、前期比 △86.1%)

売上高の減少と、一部工事の採算悪化により、前期比大幅減。

Ⅲ. 上半期の主な受注工事の状況

事業区分	工事名	発注者名	施工形態	契約工期(自～至)	
国内土木	神戸発電所第3号、第4号発電設備 建設工事 海水取水口設置	(株)神戸製鋼所	単独	2018年10月	2019年7月
	淀川左岸線(2期)1工区堤防整備他工事	国土交通省近畿地方整備局	単独	2018年9月	2021年2月
	平成30年度八代港(外港地区)岸壁築造工事	国土交通省九州地方整備局	JV	2018年5月	2019年8月
	小名浜港東港地区岸壁(ー16m)(耐震)上部工事	国土交通省東北地方整備局	JV	2018年9月	2020年1月
	水島港玉島地区岸壁(ー12m)築造工事	国土交通省中国地方整備局	JV	2018年6月	2019年5月
国内建築	(仮称)横浜ベイサイドマリーナ立体駐車場建替工事	横浜ベイサイドマリーナ(株)	単独	2018年7月	2020年3月
	(仮称)ATJ西日本事業部 A-Capital新築工事	(株)オートテックジャパン	単独	2018年7月	2019年3月
	(仮称)ヴェルディ楽々園5丁目式番館新築工事	(株)信和不動産	単独	2018年8月	2020年4月
	(仮称)ホテルルートイン神栖新築工事	ルートインジャパン(株)	単独	2018年7月	2019年9月
	茂原市学校給食センター再整備等事業建設工事	(株)茂原学校給食サービス	JV	2018年8月	2019年6月

IV-1. 将来の市場環境について

土木分野（洋上風力発電所）

平成30年9月25日リリース

●洋上風力発電所の建設を目的としたSEPを大林組と共同で建造

主な特長

1. 大型着床式洋上風力発電設備（10.0MW以上）を導入する発電所の建設を可能とする国内初のSEP
2. 国内最大の積載重量を有し、大型洋上風力発電設備を最大3台まで搭載可能
3. 洋上風力発電設備の組み立てが可能な1000t吊り大型クレーンを装備。10.0MW以上の発電設備に対応
4. ダイナミックポジショニングシステム（DPS）と操船ウインチを装備。建設現場の条件に応じて最適な位置決め方法の選択が可能

<建造スケジュール>

- ・建造契約締結： 2018年9月13日
- ・完成、引渡し： 2020年10月（予定）



【今回建造するSEPのイメージ図】

IV-1. 将来の市場環境について

土木分野（洋上風力発電所）

海域・港湾名	区分	稼働済み 導入量	計画 導入量
石狩湾新港	港湾区域		96 MW
瀬棚港	港湾区域	1.2MW	
陸奥湾	一般海域		800 MW
横浜町	一般海域		80 MW
むつ小川原港	港湾区域		80 MW
つがる西	一般海域		1,000 MW
つがる	一般海域		480 MW
八峰能代沖	一般海域		180 MW
能代港	港湾区域		88 MW
秋田県北部	一般海域		455 MW
秋田港	港湾区域	3 MW	55 MW
由利本荘市沖	一般海域		1,000 MW
酒田港	港湾区域	10 MW	
福島県沖	港湾区域	14 MW	
鹿島港	港湾区域	30 MW	187 MW
銚子沖	港湾区域	2.4MW	
下関市安岡沖	一般海域		60 MW
北九州港	港湾区域	2 MW	220 MW
西海江島	一般海域		240 MW
五島市沖	一般海域	2 MW	22 MW

稼働: 65MW
計画: 5,043MW

計画: 港湾区域 728MW
一般海域 4,317MW
(計画の黄色は、一般海域)

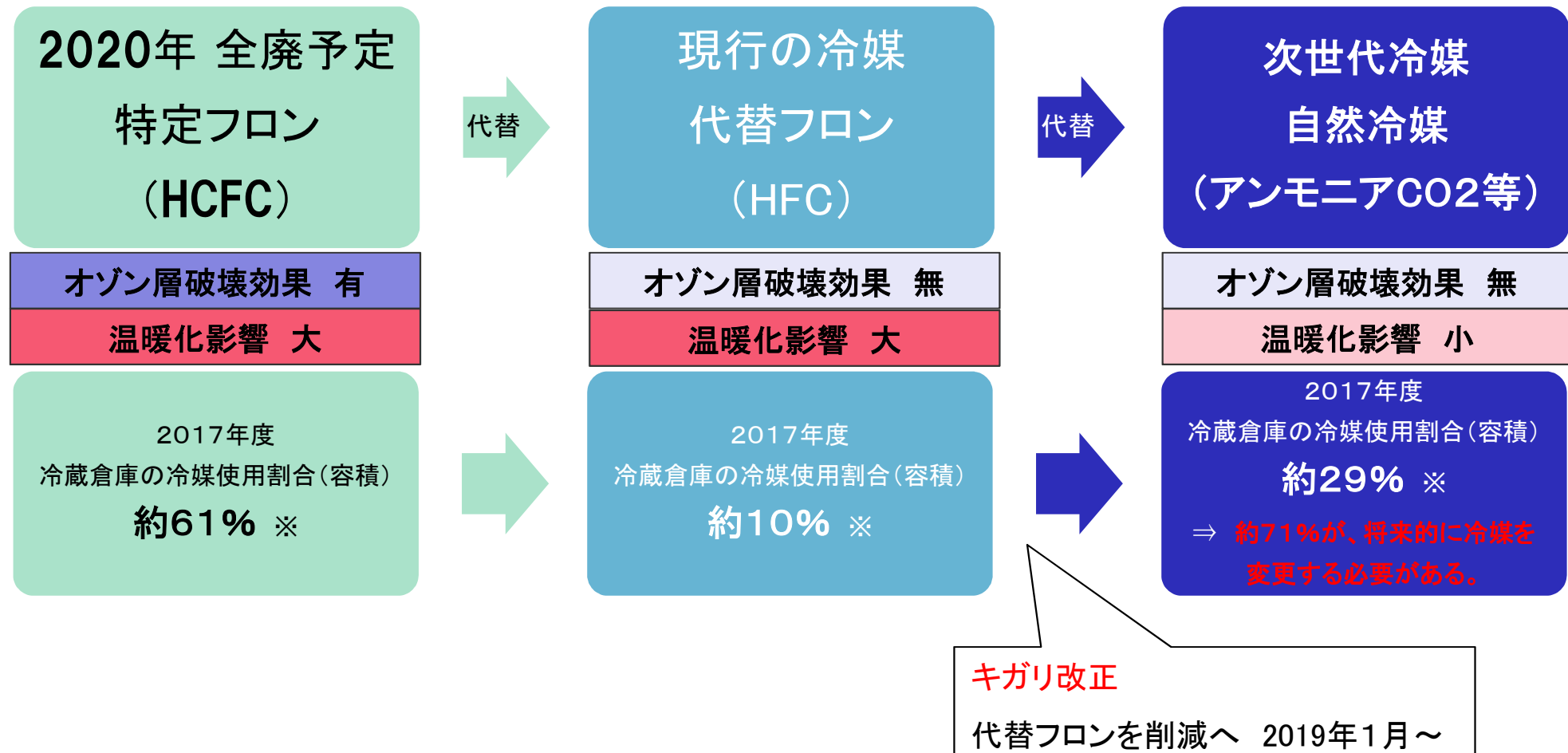


日本国内における洋上風力発電計画地

ゼンノン地図複製利用許諾番号 Web掲載: Z16LD第1449号 印刷配布: Z16LD第1448号
※(一社)日本風力発電協会(JWPA)

IV-2. 将来の市場環境について

建築分野（冷凍冷蔵倉庫 フロンガス2020年問題）



冷媒変化のイメージ

※(一社)日本冷蔵倉庫協会会員HP 2017年度冷媒調査結果より

□ お問い合わせ先

〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1

新宿パークタワー31F

東亜建設工業（株） 経営企画部広報室長 清水 祐治

TEL:03-6757-3821 FAX:03-6757-3830

この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。

将来の業績は、経営環境等の変化にともない、この資料に記載されている計画値とは異なる場合があることをご承知おきください。

Yes! Harmony

